仏

五年

画数 4
筆順 亻仏
オン ブツ
クン ほとけ

成り立ち

〝鼻〟の形を表し、〝私（6年897）〟の意味の〝ム〟と〝イ〟とを組み合わせて作った字です。

「真に〝私（吾）〟を知る」ことを〝悟〟と言い、「悟った人」のことを〝仏〟と言います。

〝仏〟とは、「悟った人」のことですが、ふつうは、〝お釈迦さま〟のことを言います。

〔旧字体は〝佛〟。サンスクリットで、「悟りを開いた人」を〝ブッダ〟と言う。これを音訳したものが、〝佛陀〟で、省略して〝佛〟と言ったものである。〕

使い方

▽仏教が日本に伝来したのは、西暦五三八年のことといわれています。その時、仏像が日本の天皇に贈られました。それ以来、さまざまな出来事を経て、仏教は日本の中心的な宗教になりました。

熟語例

▽仏教（お釈迦さまが開いた宗教。お釈迦さまは、インドの王族の出で、ゴータマ・シッダールタといいましたが、生・老・病・死の四苦がこの世にあるのを嘆いて修業をし、ついに悟りを開きました。この教えが仏教です。仏教は中国や日本など、色々な国に広まりました。）

▽仏像（仏さまの姿を彫刻や絵画にしたもの。「朝晩、仏像をおがむのが、おじいちゃんの習慣です」など）

▽仏法（仏教の教えを説いたもの。「仏法を守れば、浄土に生まれかわれると、おばあちゃんは言っています」など）

▽念仏（仏さまの姿を思い浮かべながら、仏さまの名を唱えること。とくに「南無阿弥陀仏」と唱えることを言います。）

編

五年

画数 15
筆順 糹糹糹糹編
オン ヘン
クン あ＝む

成り立ち

竹や木などを編んで作った〝編み戸〟を表した〝扁〟と、〝糸〟とを組み合わせて作った字です。

「糸で編む」という意味を表した字です。例編み物、手編み。

昔の書物は、竹や木のふだを編んで作りましたので、「書物を作る」ことを〝編む〟と言います。例編集、編修、新編、改編。

「書物の一部」の意味にも使います。例前編、後編、続編。

書物を数えるのに、〝一編〟〝二編〟という言い方をすることもあります。

使い方

▽わたしは学級新聞の編集をしました。色々なニュースを集めて来て、紙面を編むのが、とても愉快でした。できた新聞を教室にはり出すと、みんなが見てくれました。

▽ぼくは『家なき子』という本を読んでいます。とてもかわいそうな男の子の話です。長い物語なので、二冊に分かれていて、きのうは前編を読みおわりました。今日から後編を読むつもりです。

熟語例

▽編集（文章を書いたり集めたりして、新聞や本を作ること。）

▽編修（正しく書物を編集すること。とくに、辞書や歴史の本について言います。）

▽新編（新しい編集）

▽改編（一度編集したものを、改めて編集しなおすこと。また、その改めたもの）

▽前編（いくつかに分かれた本の、前の部分）

▽後編（いくつかに分かれた本の、後ろの部分）

▽続編（本などで、前の編に続くもの）